

あとがき

次長 小尾 俊彦

各学校および各教育機関におかれましては、日ごろから本センターの諸事業に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。併せて、本センターの研究推進に当たりご協力、ご指導いただきました研究推進校、山梨大学、山梨県教育庁の関係各位に厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年6月、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトに掲げた「第4期教育振興基本計画」が閣議決定されました。5つの基本的な方針に込められた、全ての子供たちの可能性を引き出す取り組みを進める上で、改めて、学級経営の重要性が注目されているように感じます。

本県でも、学校教育指導指針において、「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を貫くものとして「学級経営・ホームルーム経営の充実」を位置付けており、児童生徒一人一人のよさや可能性を十分発揮できる学級や学年集団づくりの取り組みを進めております。本センターで研修や研究の柱にしている主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善も、子供たちが協働し、自ら課題設定・解決していくような質の高い学級集団づくりが不可欠です。我々教育関係者は、学級経営の充実は子供たちの居場所をつくり、それが子供たちの可能性を拓くことにもつながるということも肝に銘じて、指導・支援に当たる必要があります。

本センターでは、この大きな決意をお持ちの先生方のお役に立てるように、「学校教育を支援する確かな情報発信源」として、研修、研究、相談等の業務を行っており、中でも研究分野においては、今日的な教育課題の解決に向け、研究推進校の先生方と共に、学校支援と教職員の資質の向上につながる実践的な研究を進めています。

2月27日にオンラインで開催いたしました研究大会では、「『新たな時代に対応する学校教育への総合的な支援』—求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導の在り方—」をテーマに、本年度の研究について、多くの先生方にお伝えするとともに、ご意見を伺うことができました。また、特別講演では、奈良女子大学 教授 伊藤美奈子氏をお迎えし、「不登校の子どものこころとその支援」と題してご講演いただき、多様化する現代社会における不登校についてしっかり認識し、学校や関係機関で情報や方針を共有することの大切さを確認する機会となりました。本大会の開催にご尽力いただいたすべての皆様方に、改めて御礼申し上げます。

本紀要は、各教育機関へのCD配付とともに総合教育センターホームページに掲載されます。収載された研究報告が、各学校等における教育活動や校内研究、また研修充実のための一助になれば幸いです。

今後も本センターに対する皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。あとがきとさせていただきます。

